



みなとしみず

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146(代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

平成22年度 清水港湾事務所直轄事業の概要

- 基本方針
 - ・駿河湾地域における国内産業の国際競争力の強化
 - ・震災時における緊急物資の輸送ルート確保や、津波災害の軽減等の国民生活の安心と安全を確保するための災害に強い港づくり
- 事業箇所 = 清水港、田子の浦港、御前崎港、下田港（全4港）

清水港

事業費：約25.0億円

新興津地区コンテナターミナル（水深15m）第2バース関連施設整備、及び日の出地区岸壁改良

● 新興津岸壁第2バース整備

（当初目標 平成27年度完了、岸壁及び泊地 平成24年度完了）
清水港に入港するコンテナ船の大型化に対応し、潮待ちなどの非効率を解消するため、現在供用している新興津コンテナターミナル第1バース（耐震強化岸壁）に隣接して、新たに第2バース（耐震強化岸壁）を整備しています。

今年度は、岸壁および防波堤の設置工事と泊地浚渫工事を行ないます。



● 日の出岸壁改良（平成22年度完了）

日の出岸壁は、外資一般貨物の荷役やフェリー等の旅客ターミナルとして利用されていますが、完成後20年余が経過しており、岸壁の一部に欠損等が確認されたため、現在補修工事を進めています。岸壁の利用に与える影響を最小限に抑えながら、今年度内の完工を目指して工事を進めます。

田子の浦港

事業費：約14.4億円

多目的国際ターミナル（水深12m）関連施設整備（当初目標 平成24年度完了、岸壁 平成22年度完了）

● 田子の浦港中央地区岸壁

田子の浦港内にある中央地区岸壁は、田子の浦港の取扱貨物量の約40%を扱う中心的な岸壁ですが、老朽化が進み、船舶の大型化に対応できず背後企業の荷が他港から陸送されるなどの非効率な状態が発生しているため、現在大型の耐震強化岸壁として整備を進めています。岸壁については今年度内の完了に向けて、整備を進めます。



御前崎港

事業費：約3.4億円

御前崎港内の静穏度確保のための防波堤整備

御前崎港内の女岩地区では、すでに多目的国際ターミナルが供用しており、コンテナ船や自動車運搬船が利用しています。より一層の利便性や安全性の確保のため、港内の静穏度を高めるための防波堤整備を推進します。

下田港

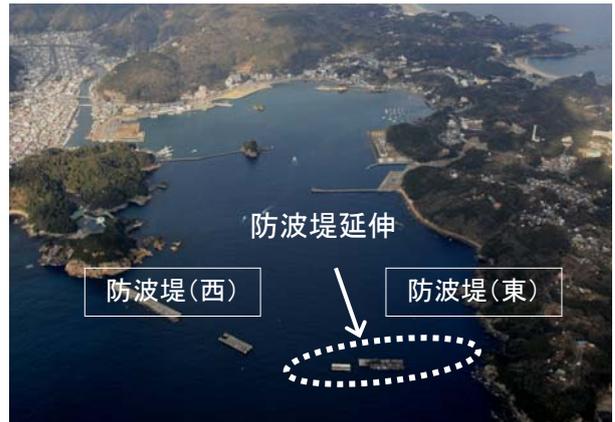
事業費：約7.3億円

船舶の避泊面積の拡大および津波防護のための防波堤整備（再評価時目標 平成30年完了）

下田港周辺は、複雑な地形と厳しい海象条件から海難事故が多発する海域のため、古くから海の避難場所(避難港)として利用されています。

現在進めている防波堤整備は、避泊船舶を守るためだけでなく、大規模地震による津波から背後の住民や財産を守る津波低減効果が期待されています。

防波堤の計画地点は最深部で水深40mと国内有数の大水深であり、かつ海象条件が厳しいという特徴がありますが、安全な施工を実施してまいります。



※写真は、全て、平成21年2月2日に撮影したものです。

○4 港合計事業費＝約50.1億円

※事業費については、平成22年度予算から業務取扱費（事務所の運営的経費）を除いて表示しており、前年度までの整理とは異なっています。

〈新年度のあいさつ〉 清水港湾事務所長 奥田 薫

平成22年度が始まり既に一月半経過しました。本紙は昨年秋以降発行を見合わせておりました。毎回定期でお読みいただいていた皆様には大変申し訳ありませんでした。

広報のあり方などについて様々な議論がありました。本紙は、当清水港湾事務所の業務という原点に返って、関連の基礎的な情報をタイムリーにお伝えすることを基本に、1枚紙の不定期刊行スタイルに変更いたしました。

みなとの機能について、経済や市民生活の豊かさと安全の確保という側面で見れば、清水港湾事務所は、国として責任をもって行うこと、地域が自らの創意と工夫で行う振興に対し必要に応じて情報提供や支援を行うこと、大きく分けてこの二つの仕事があると理解しています。もちろん地域主権、地方分権という議論が進められていることも踏まえ、新たな方針に沿っていくことも極めて重要と考えています。また、現在国土交通省の港湾政策では「選択と集中」が重要なキーワードとなっておりますが、これは無駄を排除して効果を最大化する工夫を凝らすことが極めて重要というメッセージに置き換えられると考え、この精神を仕事に反映していきたいと思っています。

国として産業の国際競争力を強化することと、地域が地元の活性化を図ることは、視点は違っても実態経済としては表裏一体、密接不可欠なことであり、最近特に感じるようになりました。前述のような精神を大事にしなが、国と地域に貢献できるよう事務所を運営していきたいと考えています。

海とみなとの相談窓口



054-473030 全国共通フリーダイヤル
 おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間：9時30分～12時、13時～17時（土・日、祝祭日は除く）その他、海とみなとに関することは
 ☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆ 何でもお問い合わせください

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

■本紙に関するお問い合わせ先■
 清水港湾事務所 企画調整課
 深澤・杉山 TEL 054-352-4148
 ご意見ご感想をお寄せ下さい。
 shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp